

## 読者のひろば



読者の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。

## 今

年の春、近所の方が家の前の道路に窪み(くぼみ)ができて雨水がたまり困っているとのこと、市役所に相談するよう教えてあげました。早速その方が電話すると、その日のうちに道路が綺麗に直ったとのことです。素早い対応に驚くとも心なしました。これからも鹿屋市の住みよい環境づくりをお願いするともに、私たちも心掛けたいと思っています。(なっちゃんさん・女性)

この度は、道路の不具合をご報告いただきまして、ありがとうございます。市道における穴ぼこや蓋板の補修については、パトロールを行うとともに、町内会等からの要望により、周辺環境や道路の利用状況等を総合的に勘案し優先度を決めて補修を行っています。もし、道路に不具合があった場合は、町内会長又は直接市役所へ連絡するか、スマホアプリ「かのやライフ」の地域レポートから投稿をお願いします。

## 全

国和牛能力共進会の記事を見て、鹿屋は肉用牛が県内1位、全国2位なんです！また、9頭も選ばれたのもすごいですね。牛肉は、鹿屋の誇りです。10月6日からの鹿屋大会は試食やPRがあるということなので、夫と一緒に、行ってみようか、と話しているところです。(I・Nさん・女性)

10月6日から10日にかけて開催された「第12回全国和牛能力共進会鹿屋大会(全共)」は、鹿屋市から9頭が出品され3区分で農林水産大臣賞を獲得するなど、出品牛全てが優等賞に入賞しました。会場では展示や全国のブランド牛試食などのブースも設置され、まさに「5年に1度の和牛の祭典」という盛り上がりとなりました。次回の全共は北海道で開催されることになっており「日本一和牛のふる里かのや」をスローガンに、今後も農家をはじめとする関係者の方々と邁進(まいしん)していきます。

## 広

報かのや10月号の「こども食堂はあちゃん家」の記事から、自分を惜しみなく与える姿が素晴らしいと感じました。現在、多くの家族では色んな事情によりすれ違いの生活を送り、共に食事や会話を楽しむ時間が取れなくなっているかもしれません。こども食堂は、子どもたちにとって地域住民との「コミュニケーション」の場となったり、手作りで愛情いっぱいのお食事がとれるので、笑顔になって、安心できる場所になると感じました。大変だとは思いますが、子どもたちの笑顔のためこれからも頑張っしてほしいと思いました。(ひつじさん・女性)

田崎小学校区内の子どもたちに対し、共食の機会や「ばあちゃん味の」などを提供する子ども食堂。手作りで温かい食事が食べられ、アットホームな雰囲気誰かと食事ができ、子どもたちにとって大切な場所になっています。川西町内会女性部を中心とした有志や、食材などを提供する地元の方や企業などの善意で成り立つ「こども食堂はあちゃん家」は、関わる全ての人を笑顔にする素晴らしい取り組みです。子育ては親だけが担うものではなく、未来の日本を支える人材を育てるものとして、地域全体で支え見守っていきましょう。

## テ

イヌカーラは私たち夫婦が結婚式を挙げた思い出の場所でしたが、閉館したという話を聞いて残念に感じていました。そんな時に10月からリニューアルオープンするという出水田さんの記事を見て、とても嬉しく思います！引き出物に地元産の食材を活用されるということで、地元だからこそ地元の味を知ってほしいという思いも素晴らしいです！今後のご活躍を願っています！(J・Yさん・男性)

皆から祝福され、幸せ絶頂の結婚式。家族となった2人の思い出の出発点ともいえる式場を途切れさせず、リニューアルオープンすることとなったのは素晴らしいことですね。本市にはほかに結婚式場がありますが、実はかのやばら園でも結婚式を開くことができます。結婚式を考えていらっしゃる方は、ぜひ鹿屋市から幸せを始めてみませんか。

## フォトネタ！



## 大浦町のかかし

大浦町高齢者クラブで制作しているかかしが今年もお披露目。10年目となる今年のテーマは日本一に輝いた「和牛」。道行く人の心を癒します。